

富山市 ゼロカーボンシティ宣言

本市はこれまで、将来市民にも責任の持てる、持続可能な都市構造への転換を推進するため、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」に取り組み、その取組みを発展させ、環境モデル都市、環境未来都市、SDGs未来都市等の選定を受けてまいりました。

一方、近年は急速な気候変動の進展により、世界的には豪雨・洪水・台風をはじめとする災害の激甚化、本市においても令和3年1月の記録的な大雪等の異常気象が多発しており、市民の安心・安全な日常生活が脅かされ、気候変動対策の強化が求められております。

また、昨今の国の動向としては、地球温暖化対策推進法の改正に際して、2050年の温室効果ガス排出実質ゼロを法定目標とする方針が決定されるとともに、令和2年12月に策定された「グリーン成長戦略」においては、温暖化対策を経済成長の制約やコストとする時代は終わり、積極的な温暖化対策の推進が「経済と環境の好循環」を創出する旨が示されております。

こうした国内外の動向を踏まえ、本市では、包括的なエネルギー政策の推進に向けて、令和3年3月に策定する「富山市エネルギービジョン」において、2050年の温室効果ガス排出実質ゼロに向けた方針・施策等を定めるとともに、「第2次富山市SDGs未来都市計画」においても、目標のひとつとして、コンパクトシティ戦略と包括的なエネルギー政策の融合による「経済成長と環境負荷の低減の同時実現」を通して、地域活性化・地方創生に貢献する旨を掲げております。

本市は、グリーン社会の実現に向けて、「コンパクトシティのネクストステージ」を見据え、環境政策のさらなる強化により、持続可能なまちづくりの深化を図るため、本日ここに「ゼロカーボンシティ」を表明いたします。

令和3年3月1日 富山市長 森 雅志

都市の理想を、富山から。



環境モデル都市富山
ECO-MODEL CITY TOYAMA



SDGs 未来都市
TOYAMA



環境未来都市
とやま
FUTURE CITY TOYAMA